



SDGs 未来都市

豊橋市

— SDGsで世界と未来につなぐ **水と緑**の地域づくり —

豊橋市は、「SDGs未来都市」として、豊かな自然の恵みを守り育み、その技術と知恵がいつまでも受け継がれることで、誰一人取り残されていない未来の姿を描き、地域とともに、そして世界とともに実現を目指していきます。

◆「経済」 水と緑に係る経済活動の活性化

豊橋市は太平洋と三河湾に囲まれ、市内には大きな豊川が流れています。

住民の暮らしを守り、企業が地域に根を張って経済活動を続けていくため、災害に強く強靱な社会基盤を整え、安全・安心な水やエネルギーを安定的に供給していきます。また、公共施設などに地域木材を活用し、水源林の保護につなげています。

《豊橋の名産を集め多くの人でにぎわう「道の駅とよはし」》



◆「社会」 水と緑を守る人材の育成

豊橋市は530（ごみゼロ）運動の発祥の地です。

ESD等の環境教育（ユネスコスクール）を通して、環境保全や環境美化への意識を高め、環境保全活動等を担う人材を育成し、未来の水と緑を守る次の世代の担い手を育てています。

《渡り鳥の全国有数の生息地「汐川干潟」での自然観察会》

◆「環境」 水と緑の環境保全

豊橋市の表浜海岸には、毎年アカウミガメが産卵に訪れます。

海や森の自然や生態系を守り続けるため、奥三河水源林の適正管理による自然災害等の防止や、バイオマス（生ごみなどを発電に使う）の有効活用による再生可能エネルギーの生産を進めて、環境負荷の低減を図っています。

《下水汚泥や生ごみからエネルギーを作る「豊橋市バイオマス利活用センター」》



←豊橋市のSDGsの取り組みはこちら

【URL】

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/53306.htm>

